

# 3 地域社会の発展に向けた積極的な貢献

## Plan>> 2010年度 基本方針

- 地域事情・特性に応じた地域社会への貢献、活性化のための取り組みを、地域のみならずとも進めていきます。
- 従業員一人ひとりの社会貢献意欲を高められるよう、引き続き情報発信をおこなっていきます。

## Do>>

### CSR Highlight

## 地域のニーズに応じた事業所ごとの活動

当社には、電気をお届けするために発電所をはじめとする数多くの事業所があります。なかでも水力発電所は山間部にあり、それぞれの地域コミュニティが大切にしているものを理解しようと努めています。例えば、黒部ダムで有名な富山県には、水力発電所36カ所、ダム17カ所、変電所等5カ所を管理運営する北陸支社があり、事業所のあるそれぞれの地域でおこなわれる伝統行事や祭りに地域社会の一員として参加しています。

世界遺産にも登録されている合掌造り集落がある富山県南砺市では、毎年、特産のそばと豪雪地帯の積雪を利用した『南砺利賀そば祭り』が開かれ、大小約30の雪像が並びます。

1986年の第1回から庄川電力システムセンターを中心に雪像づくりに協力しています。

### 地元を一緒に盛り上げたい

雪像づくりへの参加は、「雪像やかまくらといった雪を使って地域をもっと盛り上げたい」という地域の要望を当社が受けて始まったものです。職場には地元の出身者が多く、地元から頼まれれば引き受けるのは当然といった雰囲気でした。過去には、夜勤明けにそのまま雪像づくりに向かうといったこともありましたが、さすがに身体が持たないので、最近では、近隣の事業所に応援を頼み、勤務時間を調整しながら作業を進めています。

雪像づくりに取り組む気持ちをひとことで表せば、地元を一緒に盛り上げたいという思いです。

吹雪のなかでの作業もあり、年齢とともに肩や腰が痛くなって、つらいと感じることもありますが、地域から期待されている限りは、頑張っ、楽しく続けていきたいですね。



作業中のようす

2010年は地元の意見を反映し「越中一ノ宮高瀬神社」を作成

庄川電力システムセンター  
ダム水路長  
高熊 康雄



### 関西電力グループの地域共生

当社は、地域に根ざした企業として、お客さまや地域社会のお役に立ちたいという思いを持っています。

地域社会から当社が期待される役割や形態は、山間部と都市部では大きく異なり、地域によってもさまざまです。

そうした地域の種々のニーズに耳を傾け、可能な限り地域の一員として参加することを心がけています。

### ●地域のみならずとも取り組んでいるその他の事例

#### ■文化財施設などの電気設備を点検

地元の消防署などと連携して、寺社など文化財の防火に協力するものとして電気設備点検を実施しています。漏電や電気配線の異常について調査し、お客さまの設備に合わせた電気の安全な使い方をご指導しています。こうした電気設備診断は、一人暮らしの高齢者のお宅や社会福祉施設でもおこなっています。



神社での電気設備点検を実施する守口営業所員



一人暮らし宅の電気設備点検にあたる三田営業所員

#### ■地域と連携した清掃活動

地域の清掃活動は、ニーズが高く、各事業所が数多く取り組んでいます。地元のみならずともおこなう活動を含め、社内の取組みである6月の環境月間や11月のお客さま感謝月間を中心に、事業所周辺や観光地、海岸や河川、高所作業車が必要な街灯などの清掃活動を幅広く実施しています。



滋賀支店では地域で実施される清掃活動に参加



街灯清掃を実施する奈良営業所員

## 地域社会の一員としての取り組み

### 関西の文化・芸術・スポーツを支援

#### クラシックコンサート

1988年から、関西地域の文化振興活動の一つとして毎年開催しています。2010年度の「かんでんクラシック・スペシャル『オペラへの誘い』」は、ロッシーニの歌劇『セビリヤの理髪師』を上演。2日間で約2,500名の方を無料でご招待し、素晴らしい歌声や演奏にふれていただきました。このほか、各支店でもクラシックコンサートを年1回開催しています。



ザ・シンフォニーホール(大阪市)で上演

#### 関西学生アメリカンフットボールへの協賛

クラシックコンサートの開催と同じく、1988年から、関西で盛んな学生スポーツの一つであるアメリカンフットボールを応援しています。春と秋におこなわれる試合を「KANDEN FLASHBOWL SERIES」として協賛し、関西学生アメリカンフットボールの振興に努めています。

#### 「かんでんコラボ・アート21」の実施

障がいのある方がアートを通して自己表現し、社会参加するきっかけづくりをと、2001年から毎年、アート公募展「かんでんコラボ・アート21」を、(財)たんぼの家の協力をいただきながら開催しています。10年目となる2010年度には、関西一円から1,000点近くの作品が寄せられました。このように障がいのある方々の社会参加を支援するだけでなく、多くの方に作品の魅力や可能性を感じていただきたいと、入選作品を障がい者週間に合わせ11月末から4ヵ月間、関西10カ所で巡回展示しています。

### 2010年度最優秀賞受賞作品

#### 「未来の上海ディズニーランド」 古久保 憲満 さん

「まだ完成していないものが好き。先につくってしまいたい」

大きな紙いっぱいにはびっしりと描かれた建物や乗り物。計画段階の上海ディズニーランドに思いを馳せ、「未来」の姿を想像して絵のなかにつくってしまいたかった」と語る古久保さんは高校生。この作品は夏休みに2ヵ月ほどかけてご自宅で作成された。



表彰式で作品の説明をする古久保さん



### 社会貢献活動に励む従業員を支援

#### 1992年から社会貢献活動支援制度を開始

従業員の自発的な地域活動やボランティア活動を支援するため、「ボランティア休暇」や「マッチング・ギフト」制度などの利用を推奨しています。また、社内報などではボランティア活動に関する情報などを提供しています。

#### 〈具体的な支援制度と実績〉

ボランティア休暇	
取得実績 (2010年度)	94件 209日

従業員が休暇を取得して、一定の条件を満たす社会奉仕活動をおこなった場合、年間限度日数の範囲内でその1/2ないし全部を特別休暇として認める制度。

ボランティア休職	
認定実績 1992～2010年度で	15名が取得

勤続5年以上の従業員が、公的福祉機関で社会奉仕活動を長期にわたり継続しておこなう場合に、原則として1年以内の休職を認める制度。ただし、青年海外協力隊としての休職期間は2年6ヵ月。

マッチング・ギフト	
認定実績 (2010年度)	4件 31万円

従業員が個人として、あるいは職場内での募金活動を通じて、一定の要件を満たす公的団体をサポートする場合、会社からも定められた限度内でその活動を支援する制度。

## VOICE

### ボランティア休暇制度を活用し、骨髄提供に協力



姫路支店  
お客さま室  
ネットワーク技術グループ  
鈴木 健一

献血の際に骨髄移植のを知り、移植を待つ患者さんを助けたいという思いで、ドナー登録をしたのがきっかけでした。登録から数年後に適合の通知が届き、骨髄提供には全身麻酔が必要であることを初めて知りました。これまで大きなケガや病気をすることがなく、戸惑いはありましたが、医師やコーディネーターの丁寧な説明を聞いてうちに「やってみよう」という気持ちになりました。しかし、自分一人の意思だけでは、なかなか前に進むことができないのも事実です。家族や会社の協力があつたからこそ、今回の骨髄提供を実現することができました。

実際に入院すると、一人で考える時間が多くあります。家族、仕事、友達のことなど、これまでの人生を振り返っているいろいろなことを考えました。そのためか、提供後は仕事や私生活においてあくせくなくなり、当たり前のことや些細なことでも確実に考えて行動できるようになったと思います。

骨髄提供はいろいろな意味でよい経験になりましたし、実際、移植を待っている患者さんは数多くおられます。私自身、もし、もう一度提供する機会があれば、前向きに考えたいと思っています。

## 地域の活性化に向けた取り組み

### 企業立地のプロモーション活動を展開

地域の活性化・持続的発展のお役に立ちたいとの思いから、当社は自治体や経済団体と連携し、関西への立地を希望されるお客さまのサポートをおこなっています。具体的には、設備投資を検討されている全国の企業に対して、地域情報誌『Community Information』やウェブサイト「KANSAI 企業立地ガイド」などで、関西の自治体の優遇制度や産業団地の情報、関西地域での立地の利点などをご紹介したり、企業への訪問活動を通じ、関西エリアに関心をお持ちの企業を、自治体へ橋渡しする活動を続けています。

薄型テレビ関連産業や太陽電池・蓄電池など環境関連産業の集積が進む関西において、当社はグループの総力をあげ、関西地域の成長・活性化への貢献に努めています。



Web 「KANSAI 企業立地ガイド」  
http://www1.kepco.co.jp/i-park/



パナソニック プラズマディスプレイ(株)の尼崎工場(尼崎市)

### 中之島まちみらい協議会の働きが一層活発になることを大いに期待します

国立国際美術館  
館長  
山梨 俊夫 氏



国立国際美術館が中之島に移転して足かけ8年になります。多くの人々が訪れ、ずいぶん親しまれてきたとも言えますが、美術館活動は人々の美術への関心興味に応え、それを深めていくことを大切な役割にしています。その役割は、つねに新たな工夫を重ねて刺激のある内容をつくる努力とともにあります。そのためには、美術館が建つ場所を魅力的で確かな足場とすることも重要になります。確かな足場づくり、それは、美術館がある地域自体の性格やイメージとも深く関わります。江戸時代以来の文化的な彩りが濃い中之島は、現代の文化の拠点になる条件をたっぶり備えた地域です。美術館は、地域ぐるみの連携を図りながら中之島全体の活性化に寄与しなければ、美術館自身の充実もないと考えています。そして連携の要になるのが、関西電力を事務局とする「中之島まちみらい協議会」です。中之島文化圏の更なる実現に向けて協議会の働きがこれからも一層活発になることを大いに期待するものです。

### 大阪都心部のまちづくり活動

当社は、大阪都心部などのまちづくりに、ハードとソフトの両面から貢献しています。

その一つが、当社本店がある大阪・中之島での活動です。中之島は堂島川と土佐堀川に囲まれ、水と緑が豊かな環境にあり、わが国を代表する企業が立地する中枢業務地区でもあります。さらに、文化施設や歴史的建造物も多く、「水都大阪のシンボルアイランド」と称されています。

この中之島のさらなる発展、活性化をめざし、2004年に設立されたのが「中之島まちみらい協議会」であり、独自に策定した都市ビジョンを目標として、2011年現在、地区内の地権者企業など28社が参加し、まちづくりを推進しています。なお、当社は同協議会の事務局を務めています。

同協議会では、2010年からの新たな取組みとして中之島地域で発行されているフリーマガジン『月刊島民』とも連携。地域からの情報発信に積極的に取り組んでいます。

そのほか2010年は、毎年恒例となった「なにわ八百八橋・橋洗い中之島ガーデンブリッジ」に継続参加し、たわしやブラシなどで橋を磨くなど、美しい景観づくりをお手伝いしました。また、国際青年会議所の世界会議が中之島で開催された際には、出展ならびにその分科会の一つ「水」に参加。さらに、同協議会のほか御堂筋など中之島周辺のまちづくりに携わる3つの団体や行政が一体となって日本風景街道「中之島・大川・御堂筋回廊シンポジウム」を開催。このように2010年度は、さまざまなカタチで中之島のまちづくりを推進しました。

なお、こうした協議会の活動は、ホームページ「中之島スタイル.com」で紹介しています。

「中之島まちみらい協議会」での地域活性化活動は、大阪全域の魅力向上につながります。当社は、大阪だけでなく関西地域のまちづくり活動においても、活性化に寄与していきたいと考えています。

日本風景街道「中之島・大川・御堂筋回廊シンポジウム」のパネルディスカッションの様子(2010年12月開催)



水都大阪のシンボルアイランド「中之島」

Web 「中之島スタイル.com」  
http://www.nakanoshima-style.com/index.htm

## Check>> 第3章 取組みへの評価

### 社会貢献活動に関する当社イメージと具体的なご意見

●地域社会のお役に立ちたいとの思いから、地域貢献や活性化のための取組みを続けています。こうした活動については、ご参加いただいた方などにアンケートを実施し、ご意見を伺っています。

### お客さまからいただいた具体的なご意見

#### 「オペラへの誘い」の鑑賞者

- 生のオペラを鑑賞することができて感動した。
- またオペラを観たいと思う。

#### 「かんでんコラボ・アート21」巡回展示会の鑑賞者

- 発想、想像力がすごい。
- 迫力を感じる。
- 元気をもらった。

#### 地域の方

- 関電は地域の行事やボランティア活動に積極的に参加していて感心します。

### 従業員の社会貢献意識を高める取組みへの評価

●社内向けポータルサイトや社内報(5章参照)を活用し、ボランティア活動や当社の社会貢献活動に関する情報を、適宜、従業員に向けて発信してきました。

全従業員を対象に年1回実施しているCSRアンケートの結果、従業員の社会貢献意識について、7割を超えており、比較的高い水準を示していることが確認できました。

#### 〈2010年度結果〉

#### 従業員のボランティアへの意欲、関心

「今後興味のあるボランティア活動があれば参加したい」

70.3%

### 専門家の方のご意見



社会福祉法人  
大阪ボランティア協会 事務局長  
水谷 綾 氏

#### 評価できること

地域に根ざした企業である関西電力として、地域のニーズに耳を傾けながら、地域の一員としての「参加」を大事にしている点は大変評価できますし、こういった地道な活動を続けていることが、地域住民を励ましていることと思います。この点を大いに伸ばし、地域の個性を大事に育てていってください。

#### 要望したいこと

このたび、3月に発生した東日本大震災という未曾有の被害を受け、私たち市民は「地域とは何か」「共に生きるためにはどうしたらよいか」を改めて突きつけられる側面がありました。

関西電力も、日本のエネルギー産業を牽引する立場として、さまざまな側面からの社会づくりを考えていく必要があるでしょう。そのために重要なのは、地域や社会との丁寧な対話ではないでしょうか。

そのためにも、これまで続けてこられた地域活動を通じて、さらに地域や社会の声を聞いていくこと、そして交流を深めること——。これらの視点を、次の地域共生ビジョンのなかに組み込んでいただき、地域活動や文化活動などを通じた支援の幅をより広げられることを望みます。

## Action>> 2011年度以降の方針



関西電力株式会社  
地域共生・広報室長  
樺 真夏

電気事業を中心とする当社グループは、地域に根ざした事業者として、真心のこもったサービスの提供に努め、地域とともに発展することをめざして事業運営に取り組んでおります。地域のイベントや活動にも、自らの特徴を活かしつつ地域の一員として参加することを心がけています。

そのなかで当社がおこなっているクラシック音楽のコンサートや美術展、学生スポーツへの支援は、開始から20年以上続いて

おります。また、障がいのある方々から美術作品をご応募いただきそれを展示する「かんでんコラボ・アート21」は昨年で10周年を迎えました。社会貢献に関して、私たちは一つの取組みをじっくりと息長く継続することを大切にしたいと考えています。

これからも、地域の方々の声に耳を傾けながら、微力ではございますが、積極的に取り組んでまいります。